

1 施策の進捗状況調査結果

【評価基準】
 A:定常的实施
 B:一部着手
 C:未着手
 F:完了

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点 市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体の自然を知る	自然環境調査の実施	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施した。	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施する。	環境政策課 (環境政策係)
				あきる野百景などの周知・活用	市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置している。また、写真パネルを五日市郷土館での展示に貸し出した。必要に応じてあきる野百景に登録された場所の画像提供を行った。	A	継続して市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置する。また、必要に応じて情報・画像提供やパネルの貸し出しを行う。	環境政策課 (環境政策係)
					観光キャラバンや観光ボランティア事業を通じ、あきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に案内書として配布し、市のPRを行った。	A		
				産業祭「環境展」で外来生物についての周知等を実施した。また、「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを市内公共施設、イベント等で配布するとともに、市ホームページに掲載した。平成21年度から23年度までの自然環境調査結果を報告書としてまとめた。	B	平成21年度から23年度までの調査結果をまとめた「あきる野市自然環境調査報告書(平成21年度～23年度)」を市内公共施設に設置するとともに、市ホームページで公表する。産業祭「環境展」では、生物多様性についての周知を図る。	環境政策課 (環境政策係)	
			生物多様性についての情報提供・普及啓発(講座、イベントの開催等)	6月2日に開催された新宿区環境イベントにあきる野市の自然環境等に関するパネル展示を行った。11月10日・11日に開催したあきる野市産業祭において、市内の動植物や滝・沢、巨樹などの地域資源の写真展示を行った。12月13日から15日の期間で東京ビックサイトで開催された環境展示会エコプロダクツ2012にオール東京62市区町村共同事業として出展し、本市が進めている森づくりや本市の自然環境等の展示を行った。市内全小学校の校外学習に同行し、市内の自然環境、生物の多様性について解説を行った。その他市内幼稚園、中学校に出向き、市内の生物多様性に関する講義を行った。	A	平成24年度と同様、様々な機会を捉えて情報提供等に努めていく。	環境政策課 (環境の森推進係)	
			自然の保全・管理活動の実践	あきる野版RD種の選定	市内で確認された植物種について、自然環境調査部会(植物班)において、あきる野版RD種の検討を進めた。	B	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を基にあきる野版RD種の選定を検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、植物、脊椎動物等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、植物では34種、動物では合計56種(哺乳類3種類、鳥類32種類、爬虫類4種類、両生類5種類、魚類4種類、昆虫8種類)の絶滅危惧種(東京都の2010年レッドリストによる)を確認している。	B	平成24年度と同様調査を継続し、情報提供を行っていく。	環境政策課 (環境の森推進係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	適正評価及びモデル地区等の選定	モデル地区の選定には至っていない。	C	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を参考に、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行った。	B	平成24年度の取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)
					モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。モデル地区としてではないが、独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施した。また、11月から町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を開始した。モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っている。	B	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。モデル地区としてではないが、独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施する。また、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施する。モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っていく。	環境政策課 (環境政策係)
					モデル地区ではないが、菅生若宮子ども体験の森事業実行委員会が中心になり、自然体験の事業、環境に配慮した森林の保全・管理活動を実施した。	B	菅生若宮子ども体験の森事業実行委員会は解散となり、今後は、産学官によるあきる野菅生の森づくり協議会で事業を継続していく。		環境政策課 (環境の森推進係)
					生物多様性の保全のための方針の確立	自然環境調査を実施し、調査結果については、方針検討の資料にする。	B	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)
						森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行い、絶滅危惧種や外来生物の確認をし、健全な生態系の維持を努めるよう対策を講じている。	B	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					外来生物対策	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を行った。また、東京都の補助制度を利用し、市民と協働でアライグマ等の対策を開始した。オオキンケイギクについてもホームページで呼びかけを継続した。	A	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を継続する。また、東京都の補助制度を利用し、市民と協働でアライグマ等の対策を進める。オオキンケイギクについてもホームページで呼びかけを継続する。	環境政策課 (環境政策係)
						森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行った。また、環境政策係が実施するアライグマ・ハクビシン対策について、生息状況の情報提供をするとともに、わな設置場所のアドバイスを行った。	B		平成24年度の取組を継続する。

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価 (評価の指針等の作成、実態評価)	評価の指針等の作成等には至っていないが、市役所全課へ市施設における剪定等の配慮を呼びかけ、担当課で樹木の枝打ちや伐採をする際の相談を受け付けた。(契約管財課、児童課)	B	生物多様性地域戦略の策定の検討とともに、街路樹や公園の樹木等の管理のあり方について検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
				実効性の高い保全制度の検討・確立	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
					産学官が連携して菅生地区をモデルとした森づくりを進めており、NECフィールディング(株)、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、NPO法人ふるさとの森づくりセンター、あきる野市の6者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会で実施している里山活性化事業において、様々な主体が協働して森づくりに取り組んでいる。この取組を進めていく中で、新しい森づくりの担い手の育成や森づくりの方法などを探りつつ、実効性の高い保全の方法を検討し確立していく。	B	B	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				財源の強化・拡充	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
					郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者の契約に基づき、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付を受けている。	A	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					平成24年度については実施していない	A	実施予定なし	財政課	
				ボランティアの育成・活用	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。また、農林課においては「あきる野の農と生態系を守り隊」を発足する予定である。	環境政策課 (環境政策係)	
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成23年度からは、市職員のほかに森づくりに関心のある方(市民・企業・団体)を加え(平成25年3月末現在119人)、10回の活動に82人が参加した。	A	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
					里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行う「菅生若宮子ども体験の森事業」を地元住民との協働により推進するとともに、東京都レンジャーなどとの連携強化を図っている。また、自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織(小学校4年生から中学1年生までの29人)し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりの取組を進めた。	A	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。	A	緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布する。	農林課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般 市民の声が生きる、環境に配慮したまちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集を実施する。	A	実施予定なし	都市計画課	
			景観形成モデル地区の設定	実施していない	C	実施予定なし	都市計画課	
				実施していない	C		区画整理推進室	
			自然環境に適合した既存計画、線引き・用途区域等の見直し	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行い、一部の編入を行った。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	B	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	都市計画課	
			環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	実施していない	C	実施予定なし	都市計画課	
			地域別環境づくりの方針の活用 (地区計画制度の活用)	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定を行った。	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。	都市計画課	
	実施していない	C		区画整理推進室				
	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価	林床植物の生育を促すため、森林再生及び枝打ちを実施し、日照の確保を行った。	A	A	平成24年度同様である。	農林課
				郷土の恵みの森構想や郷土の恵みの森づくり基本計画において、7つの地区に区分した整備方針に基づき、各町内会や自治会が普通道・尾根道の整備や景観整備に継続して取り組んでいる。	A		平成24年度取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
			公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	花粉対策事業(色彩豊かな森事業)は廃止となったが、観光商工課と連携し景観整備を行った。(馬頭刈山頂周辺景観整備)	A	A	観光まちづくり活動課と連携し、景観整備を行う。	農林課
産学官による森づくりにおいて、モデル地区である菅生地区の大沢にある市有地を地域の方を中心にワークショップ形式で残土による盛り土部の土地利用の方針の検討、整備を行っている。				B	平成24年度取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	重点	森林の保全と活用	地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進	深沢地区は、五日市憲法草案の発見された深沢家の土蔵や南沢のアジサイ、深沢小さな美術館、大カシなどの観光資源が存在しており、深沢川周辺や南沢地区においても景観整備を実施している。また、大カシから堀田尾根にかけての尾根道の整備及び森づくりによる散策コースの整備を継続している。本地区には落合自治会や養沢自治会との連携により整備された尾根道とあわせ、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～横根道～瀬音の湯という山歩きコースも整備され、平成23年度に雨のため中止となった、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～横根道～瀬音の湯をコースとした森林レンジャーとともに“協働の道”を歩くツアーを実施した。	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
				次世代につなぐ森づくり	古道・散策コース及び景観の整備	7つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備を、8つの自治会により、道路補修や植樹など景観整備を継続して行っている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつか確保されたコースを維持している。また、これらの団体で森づくりサミットを開催した。（平成25年2月1日）	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
				森の魅力発信	菅生若宮子ども体験の森において「私のたからものを見つけよう！」と題して森の探検を行った。また、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～横根道～瀬音の湯をコースとした「森林レンジャーとともに“協働の道”を歩くツアー」を実施した。産学官の連携では、「ツリークライミングと森遊び」「みんなで楽しく森づくり体験」「正月の準備～餅つきとお飾りづくり～」椎茸の駒打ちと里山遊び」を実施した。また、森林レンジャー、コレンジャーの活動も継続して行っている。	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
		一般	森林の保全と活用	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道の開設（3路線）・改良（2路線）を行った。また、水源かん養機能の向上や生活環境等の保全を図るため、治山治水事業に取り組んでいる。	A	平成24年度と同様である。	農林課	
				森林資源の需要の喚起 （新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用）	みなと区民の森づくり、新宿の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施した。	A	みなと区民の森づくり、新宿の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定	農林課	
		重点	森林の保全と活用	森づくりの体制の整備	町内会・自治会等との連携	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が取り組んでいる昔道・尾根道の補修や景観を整備する郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林レンジャーあきる野や森林サポートレンジャーあきる野等が整備作業等を支援した。平成24年度においては、昔道や尾根道の補修事業を7地区、景観整備事業を9地区で実施した。	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
					森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備	森林レンジャーあきる野を中心として、市職員及び森づくりに関心のある市民等を加えた森林サポートレンジャーあきる野による活動を行った。	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
					郷土の恵みの森づくり事業基金の運用	郷土の恵みの森づくり事業を推進するために寄せられた寄附金については、郷土の恵みの森づくり事業基金に積み立てており、予算編成上の必要性により活用している。	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 森林の保全と活用	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各自治会と合同で整備事業を実施した。		A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各自治会と合同で整備事業を実施予定	農林課		
				市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)				A	平成24年度の取組を継続する。
			活動資金の確保 (緑地保全基金の活用の検討(再掲))	実施していない		C	実施予定なし	農林課	
				実施していない		C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
				郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者の契約に基づき瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付として受けている。		A	A	平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
			当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。			A	当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課	
			森林保全・活用のための整備の推進	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工した。		A	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工予定	農林課	
		森林管理のための林道整備に係る取組としては、町内会・自治会が郷土の恵みの森づくり事業として取り組んでいる昔道・尾根道の整備を行っている。			A	平成24年度の取組を継続する。			環境政策課 (環境の森推進係)
		一般 里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	自然環境調査において調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。		B	自然環境調査部会においてフォロー調査を実施する。また、横沢入里山保全地域においても都の調査を継続実施する。	環境政策課 (環境政策係)	
				実施していない		C			実施予定なし
			評価と利活用方針の検討	自然環境調査の調査結果については、今後の保全策検討における資料とする。また、横沢入については都により検討されている。			B	自然環境調査ではフォロー調査として調査を継続する。また、横沢入里山保全地域においても、都が調査を継続実施する。	環境政策課 (環境政策係)
				実施していない			C		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	モデル地区での保全管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていないが、保全管理が急がれる場所については随時対応した。(トウキョウサンショウウオ、希少植物等)	C	A	生物多様性地域戦略策定の中でモデル地区の選定とあわせ検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					菅生地区において、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりを地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A		平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				各地域での保全策の検討	自然環境調査部会において市内の自然環境についての課題抽出を行った。また、随時必要な対応がある場合は対策を講じた。なお、横沢入では都により管理計画が検討されている。	B	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。また、保全対策が急がれるところについては、随時保全を進めていく。	環境政策課 (環境政策係)
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)
					横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課
				緑地保全基金の活用(再掲)	実施していない	C	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)
					当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課
				ボランティアの育成・活用(再掲)	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	A	A	継続実施する。	環境政策課 (環境政策係)
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市職員及び市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う古道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成24年度は、10回の活動に82人が参加した。	A		平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。	A		五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施する。	生涯学習推進課(H25～生涯学習スポーツ課)
					市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を修了したので解説員として4名を認定した。	A		市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を修了した者を解説員として認定する。2名(予定)	公民館(H25～生涯学習スポーツ課)
				学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。また、他の小学校においても稲作体験や地域の特性を生かした体験授業が行われている。	B	A	平成24年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)
					市内小学校を対象に自然体験学習を実施している。また、「森の子コレンジャー」の活動を通して、小宮ふるさと自然体験学校周辺の自然環境の体験学習活動を行った。	A		市内小学校を対象にした自然体験学習を継続して行う。また「森の子コレンジャー」の活動についてはより専門的な学習活動を行っていく。	環境政策課 (環境の森推進係)
					郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。また、小宮ふるさと自然体験学校(旧小宮小学校)での自然体験学習を各小学校で実施した。	A		郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。 また、小宮ふるさと自然体験学校での自然体験学習を各小学校で実施していく。	指導室

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地を認定農業者等に利用集積した。 農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施した。 畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導も行った。 農地の散策や収穫体験を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施する。 農業後継者に農業技術研修への参加を啓発する。 獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施する。 畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行う。 農地の散策や収穫体験を実施する。 	農林課	
				農地の環境面からの機能のPR	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課(環境政策係)	
				中山間地域ふれあい農業の検討	実施していない	C	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進を進める。	農林課	
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	地元産野菜の学校給食への使用を進めた。	A	地元産野菜を学校給食へ使用する。	農林課	
				遊休農地の活用方策の検討・推進(学校農園、市民農園など)	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図った。	A	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図る。	農林課	
					総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。	A		前年同様に実施していく。	指導室
		人材育成と活用の仕組みづくり(農業委員会との連携・後継者の育成支援)	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や近隣自治体と意見交換会を実施し交流を図った。	A	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図る。	農林課			
		一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全(水と緑の環境保全)	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境政策課(環境政策係)
					秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	生活環境課
				秋川・平井川流域における環境保全の推進	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境政策課(環境政策係)
					秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	生活環境課
					平井川こどもの水辺協議会の構成団体として参画(1回7月30日)	A		平井川こどもの水辺協議会の構成団体として参画予定	生涯学習推進課(H25～生涯学習スポーツ課)
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大(再掲)			戸倉、乙津地区においてスギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹の植栽を行った。(花粉対策事業)	A	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課		
	湧水の保全(湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進)			東京都が湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。	A	A	東京都が湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行う。	環境政策課(環境政策係)	
				環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。	A		環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図る。	生活環境課	
		開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。	A	継続	都市計画課				
	親しめる環境づくり(親水散策路の整備)	実施していない	C	予定なし	建設課				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	崖線地区の保全 (市街化調整区域への指定変更、公有地化)	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。	A	A	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行う。	環境政策課 (環境政策係)	
				線引き変更の検討	線引き変更の検討	C		線引き変更の検討	都市計画課	
				市民意識の啓発	清流保全を呼びかける看板については設置済みである。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。	A	平成24年度と同様に実施する。清流保全協力員から意見・要望等があった場合には必要に応じて対応する。	生活環境課		
				モデル地区での水質浄化活動	モデル地区の設定がされておらず、実施していない。	C	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)	
					モデル地区の設定がされておらず、実施していない。	C		実施予定なし	生活環境課	
				一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	実施していない	C	B	実施予定なし
		実施していない	C				実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)		
		自然環境調査を実施するとともに、ジオパークの検討が進められた。	B				自然環境調査部会地質班については、秋川流域ジオパーク推進協議会に参画し、ジオパーク認定に向けた取組を進めていく。	環境政策課 (環境政策係)		
		財源の確保	実施していない			C	A	A	実施予定なし	生涯学習推進課 (H25～生涯学習スポーツ課)
			平成24年4月にあきる野市、日の出町、檜原村をはじめ、有識者、観光協会、商工会、流域住民などが連携し、秋川流域ジオパーク推進協議会を組織し、日本ジオパーク認定に向けた取組を始めた。この取組に当たって、多摩・島しょ広域連携活動助成金を受けている。			A			平成24年度の取組を継続し、多摩・島しょ広域連携活動助成金を受ける。	環境政策課 (環境の森推進係)
		文化財の指定、開発の抑制	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。			A	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の巣石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習推進課 (H25～生涯学習スポーツ課)
			実施していない			C			実施予定なし	都市計画課
		郷土学習の支援 (多様な連携づくり)	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会及び自然環境調査部会へのオブザーバー参加等を行った。			A	A	A	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会及び自然環境調査部会へのオブザーバー参加等を行う。	生涯学習推進課 (H25～生涯学習スポーツ課)
			森林レンジャーあきる野が、自然体験学習や市内の小中学校や幼稚園が行った環境学習の支援を行った。			A			平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
			「知って守ろうあきる野の自然」(リーフレット)を公共施設に設置するとともに学校等に配布した。また、平成21年度～23年度の調査結果を報告書としてまとめた。			A			「知って守ろうあきる野の自然」(リーフレット)の公共施設への設置を継続する。また、「あきる野市自然環境調査報告書(平成21年度～23年度)」を図書館等で閲覧できるようにするとともに、学校等へ配布する。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の礫石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行うと共にその紹介パンフレットを発行を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に自然等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の礫石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図る。また、ミエソウの化石複製の展示を行う。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習推進課（H25～生涯学習スポーツ課）
				自然環境調査において、地質・地形に関する調査を実施した。また、自然環境調査部会において作成した「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を無料配布した。さらに、平成21～23年度の調査結果を市民に周知するため調査報告書を作成した。環境の森推進係においては、ジオパーク推進事業の一環として化石鑑定段や化石さがしのイベントを開催した。	A	リーフレットの配布を継続する。また、自然環境調査報告書を図書館等の公共施設で閲覧できるようにするとともに、市ホームページで公表する。	環境政策課（環境政策係）	
				文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	自然に関わる講座、写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A	自然に関わる講座、写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習推進課（H25～生涯学習スポーツ課）
				市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を42回実施した。	A	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を38回実施（予定を含む）	公民館（H25～生涯学習スポーツ課）	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
				環境関連講座の開催	実施していない	B	実施予定なし	生活環境課
				環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
				自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行った。月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行った。エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付した。啓発用としてエコドライブ実践中ステッカーを作成した。エコドライブ講習会を実施した。（座学：1月28日105人、実技：2月5日6人）	A	市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。庁用車へのエコドライブ実践中ステッカー貼付を継続する。エコドライブ啓発のためステッカーを配布する。エコドライブ講習会を実施する。	環境政策課（環境政策係）
				公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	本庁舎の庁用自動車の燃料使用量の削減に努めたが、本庁舎の庁用車が2台増えたことと事務量の増加などの要因から、平成23年度比で1,668ℓ（5.3%）増加した。	A	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2の排出量の削減（庁用自転車活用を含め）を推進する。	総務課
				会議回数9回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課	
「低排出ガス重量車」に認定されている車両をコミュニティバスとして導入している（平成23年度購入車両：るのバス）。	A	引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。（平成23年度購入車両：るのバス）。	地域防災課					

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	低公害車の率先導入	「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している（平成24年度購入車両：第6分団本部のポンプ車）。	A	買い替えが必要となる第7分団本部のポンプ車について、「低排出ガス重量車」に認定されている車両を導入する。	地域防災課		
				低公害車を4台導入した。	A		低公害車1台の導入予定	総務課	
			低公害車の普及・啓発（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A	平成24年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）		
			粉じん防止対策の充実	粉じん苦情件数：4件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	生活環境課		
			悪臭防止対策の充実	悪臭苦情件数：21件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	生活環境課		
		重点	公害の防止	事業所排水対策	排水水質調査・是正指導	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。	A	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。	生活環境課
				生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を行った。	A	平成24年度と同様である。	下水道課（H25～管理課）
					下水道の整備	下水道の整備面積4ヘクタールを実施した。	A	下水道の整備面積約5ヘクタールを実施する予定である。	下水道課（H25～管理課）
					合併処理浄化槽の設置補助（補助金）	合併処理浄化槽設置補助件数：10件 既存単独浄化槽撤去補助件数：1基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。	A	制度等については、前年度と同様である。 補助件数として、 設置補助基数：16基（目安） 単独浄化槽撤去補助：1基（目安）	生活環境課
				家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	水質汚濁（排水に係るもの）苦情件数：1件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	生活環境課	
		一般	公害の防止	下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討		実施していない	C	実施予定なし	下水道課（H25～管理課）
				工場・事業場からの騒音防止対策の充実	工場・事業場に関する騒音苦情件数：3件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	生活環境課	
				道路交通騒音対策の実施（都等への要望）		実施していない	C	要望に応じて実施する。	建設課
				近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	近接騒音苦情件数：10件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	生活環境課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型 のまちの実現	一般 公害の防止	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	苦情件数：44件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望している。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	苦情件数：2件 （平成25年4月22日現在） 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。 未然防止措置としては、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。また、国に対し、防衛施設周辺整備全国協議会を通じて騒音や訓練等の対策に関する要望をしている。	企画政策課	
			有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課	
			有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	有害化学物質使用届出件数：12件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	有害化学物質使用届出件数：12件（目安） 平成24年度と同様である。	生活環境課	
			振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	振動苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	生活環境課	
			土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	土壌汚染調査結果報告書提出件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	生活環境課	
			家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支援	A	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支援	農林課	
			地下水保全対策の充実（揚水規制）	地下水揚水量報告書提出件数：18件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらおうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努められている。	A	地下水揚水量報告書提出件数：18件（目安） 平成24年度と同様である。	生活環境課	
				かん水施設管理組合が維持管理している。	A			かん水施設管理組合が維持管理していく。
		光害防止対策の研究	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、国のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	国のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。	生活環境課		
		重点 循環型社会の構築	循環型社会構築の推進	「ごみ会議」の運営・推進	・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすそう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすそう」の発行等）	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）、秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすそう」発行1回	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
				落ち葉の堆肥化の推進	高尾公園に堆肥化枠を新たに1基設置し、市内4箇所地元自治会の協力を得て落ち葉の堆肥化を実践した。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課
				実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 循環型社会の構築	グリーン購入の推進 (考え方や商品等の紹介・PR)	実施していない	C	リサイクルフェア等で周知を図る。	生活環境課
			省資源(レジ袋削減・簡易包装等)・ロングライフ (長寿命)化の推進(情報提供・意識啓発)	リサイクルフェア及びへらすぞうで啓発した。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	C 商工会の協力を得て検討する。	生活環境課
				実施していない	C		実施予定なし
			リサイクルフェアの実施	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー(玩具・包丁砥ぎ)秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			廃食油石けんづくりの普及	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ3団体(年間17回)が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	生ごみ堆肥処理機器購入費の補助及びEM菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 20基 EM菌バケツ 80世帯 156個	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			省資源型経営の推奨	実施していない	C	周知方法等を検討する。	生活環境課
			ごみの戸別収集・有料化	平成16年4月からごみの戸別収集・有料化を継続実施している。 ・総収集量 23,774 t(平成23年度)→23,501 t(平成24年度) ・燃やせるごみ 14,755 t(平成23年度)→14,665 t(平成24年度) ・燃やせないごみ 3,371 t(平成23年度)→3,304 t(平成24年度)	A	ごみの戸別収集・有料化を継続する。	生活環境課
			資源集団回収の実施	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 108団体 回収量2,035トン	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			ペットボトル等拠点回収実施	毎週2回拠点回収する。 ・A地区 回収箇所 51箇所/回収日数 102日 ・B地区 回収箇所 62箇所/回収日数 103日 回収量 計134トン	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			新たなりサイクルシステムの検討	平成28年度に予定しているリサイクルセンター稼働に向けて検討を行っている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
			剪定枝等のリサイクル方法の検討	落葉の堆肥化枠を市内4箇所に設置している。(うち1箇所は、平成24年度設置)	A	平成25年度も継続していく。	生活環境課
			放置自転車リサイクルの実施	市が管理する自転車等駐車場に放置された自転車33台を公共若しくは公共的団体に無償譲渡し、18台を民間業者に売却し再活用してもらっている。	A	引き続き、公共的・民間の活用により再利用に取り組む。	地域防災課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課					
				実績	評価	予定・進捗						
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	循環型社会の構築	環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化)	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課				
				ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の管理をしている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課				
				清掃工場の適正管理	西秋川衛生組合において、環境基準に対応するよう定期的に施設の点検・整備を行っている。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課				
	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	公園の整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 公園の植樹 125本(ドウダンツツジ) 民間遊び場の補助 5件 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 公園の植樹 50本予定 民間遊び場の補助 申請により交付 	管理課			
					平成24年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課			
					実施していない	C		実施予定なし	区画整理推進室			
					担当課に対し、樹木伐採の際配慮をするよう呼びかけを行った。	B		樹木の枝の剪定や伐採をする際は、必要最小限に留めるよう注意喚起する。また、生物多様性地域戦略策定の中で公園整備のあり方について検討を行う。	環境政策課 (環境政策係)			
				緑化の推進(開発時の緑化指導)	ふるさと緑地保全条例に基づき緑化指導を行っている。	A	A	ふるさと緑地保全条例に基づき緑化指導を行う。	環境政策課 (環境政策係)			
					開発指導要綱に基づき指導を行っている。	A		平成24年度と同様である。	都市計画課			
				緑化の効果のPR	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗(3ポット×200人)及び種(380袋)を配布するとともに、グリーンカーテン講習会を実施した。また、グリーンカーテンコンテスト(参加者:個人38、団体11)を実施した。	A	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種を配布する。また、グリーンカーテンコンテストを実施する。	環境政策課 (環境政策係)				
				地元野菜の普及・活用(食育)	重点	市街地における緑の確保	施設園芸(温室等)化	要望調査を実施した。 3直売所の農作物売上調査を実施した。	A	要望調査を実施する。 3直売所の農作物売上調査の実施	農林課	
							保育園給食等への供給検討・実施	学校給食への導入を図った。	A	学校給食への導入を図る。	農林課	
							地元産野菜を題材にした食育の推進	学校給食に地元産野菜を使用した。 ・提供野菜 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜	A	A	学校給食に地元産野菜を使用を図る。 ・提供野菜(予定) 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜、トウモロコシ	農林課
								簡単料理レシピとして市民から募集したレシピの講習会の実施。 ファーマーズセンター等へ「旬クッキングレシピ」を設置。(季節に合わせて4回実施)	A		簡単料理レシピの募集と地域講習会の開催。 旬クッキングレシピの配布による地産地消の推進。	健康課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点 市街地における緑の確保	農業の振興・支援	後継者の育成支援	補助金の支援 先進地視察を実施した。 農業委員会との意見交換会を実施した。	A	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	農林課	
				獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵の貸出し）わな免許取得の支援 箱わな 86台活用 獣害被害 108件（昨年同様）	A	あきる野の農と生態系を守り隊を発足し、猟友会会員などの捕獲従事者の育成・確保を図る。 獣害防止対策の実施（被害状況の調査、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援等	農林課	
			農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理追加指定（希望者把握・協議）	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導した。定期的なパトロールは年1回実施した。生産緑地の追加指定を随時実施しているが、平成24年度については実績はなかった。	A	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。定期的なパトロールは年1回実施する。生産緑地の追加指定を随時実施している。	農林課	
					申請がなかったため生産緑地の追加指定を行わなかった。	A		実施予定あり。6月末までの申請については平成25年度に都市計画決定を行う予定である。	都市計画課
				市民農園制度の活用・取組方策の検討（遊休農地の活用ほか）	市民農園は、認定農業者による農地の利用希望があり、認定農業者への貸付を優先したため、新規開園は行わなかった。市民農園利用者に農業講習会を年2回実施した。	A	新たな担い手の育成・確保のため、規模の大きい市民農園の開設を検討する。市民農園利用者に農業講習会を年2回実施する。	農林課	
		一般	保存樹木・保存緑地の指定	保存樹木の指定を推進した。また新たに3本を保存樹木として指定した。	A	保存樹木の指定を推進する。	環境政策課 (環境政策係)		
			みどりの大切さのPR	地球温暖化対策として、市広報・HPでPRした。	B	地球温暖化対策としてPRを続けるとともに。生物多様性地域戦略策定に関連してPRを検討する。	環境政策課 (環境政策係)		
		重点 魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動（看板の設置等）	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、河川パトロール、水質調査（COD）、ホテルの生息状況調査等を実施している。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課	
				市民参加型イベントの検討・実施	自然環境調査において、市民参加型の水生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施した。（9月9日）	B	自然環境調査において、市民参加型の水生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施予定。	環境政策課 (環境政策係)	
				活動の公表の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
					実施していない	C		実施予定なし	生活環境課
				河川景観の整備	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。（5か所）	A	A	平成24年度と同様である。	生活環境課
		実施していない	C		実施予定なし	建設課			
			川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止）	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行う。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努める。	生活環境課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	ホタルが棲める川づくり	ホタルが見られる場所の調査	実施していない	C	実施予定なし		環境政策課 (環境の森推進係)	
					清流保全協力員の調査結果を参考に、自然環境調査において生息状況の確認を行った。	A	A	実施予定なし		環境政策課 (環境政策係)
					清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。	A		過去の調査結果をもとに追跡調査を実施する。		生活環境課
			ホタルが棲める川づくり (ホタルの保護など)	ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に実施している河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組について、ホタルの里づくり推進事業補助金を交付し支援をした。支援は、深沢自治会ほたるの会、南郷用水ホタルの会(雨間町内会)、落合自治会ほたるの会の3団体である。 また、圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園については、区域内に水路もありホタルが生息しているため、菅生ホタルの里づくりの会に対し、公園内の清掃等や水路の美化等によるホタルの保全活動を業務委託している。	A	A	平成24年度の取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)	
		実施していない		C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。		環境政策課 (環境政策係)			
		魅力ある川づくり	子どもの水辺事業の推進		平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回 7月30日) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示予定		生涯学習推進課(H25 ～生涯学習スポーツ課)	
			親水散策路の整備の推進(再掲)		実施していない	C	実施予定なし		建設課	
			あきる野百景の保全・活用の検討		観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施した。	A	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施する。		環境政策課 (環境政策係)	
			散策路・遊歩道の整備(親水散策路の整備:再掲)		市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。	A	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。		観光商工課
					実施していない	C		実施予定なし		建設課
	水と緑のマップの充実		「知って守ろうあきる野の自然」(リーフレット)を無料配布し、市民への周知を図った。また、平成21年度～23年度の調査結果を報告書としてまとめた。	A	「知って守ろうあきる野の自然」(リーフレット)の無料配布、平成21年度～23年度の調査結果報告書の公開により、市民への周知を進める。市民への周知を図るとともに、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。		環境政策課 (環境政策係)			
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり(地区計画) (区画整理事業区域・線引き変更箇所)	・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会(引田)の開催(計5回)	A	A	・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催(計6回予定)		区画整理推進室
					線引きの変更に伴い地区計画の導入を実施した。	A		線引き変更に伴い検討する。		都市計画課
				歩きやすいみちづくり(散策路、遊歩道の整備)		平成24年度については実施していない	A	実施予定なし		建設課
						市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。		観光商工課
平成24年度についても7つの自治会町内会により、昔道・尾根道の整備が行われており、8つの自治会により、景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが維持されている。これに加え、景観整備により植えられた樹木等は、散策等で訪れる観光客の目を楽しませている。						A	A	平成24年度の取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。	都市計画課	
				景観保全・形成の方向性の決定 （都市景観ガイドラインの策定等）	実施していない	C	未定	都市計画課	
					実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）	
				市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回） ・引田まちづくり協議会開催（計5回）	A	・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回予定） ・引田まちづくり協議会開催（計6回予定）	区画整理推進室	
					実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 （環境政策係）	
				商店街の景観整備	実施していない	C	装飾灯の設置予定なし	観光商工課	
				まちかど広場等の整備	平成24年度については実施していない。	B	実施予定なし	建設課	
				買い物マップの作成	実施していない	C	未定	観光商工課	
				観光スポットのPR	ホームページ、携帯サイト及びFacebook等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A	ホームページ、携帯サイト及びFacebook等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	観光商工課	
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	1,490枚を撤去した	A	1,500枚の撤去を予定している。	管理課	
		電線の地中化の検討	実施していない	C	実施予定なし	区画整理推進室			
			実施していない	C	実施予定なし	管理課			
		重点	清潔なまちづくり	たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発）	産業祭でたばこのマナー向上の普及を行った。また、市内5駅周辺での喫煙状況を調査し、環境委員会、たばこ税増収対策協議会、JTと協力して3駅（東秋留・武蔵増戸・武蔵五日市）で喫煙マナーアップキャンペーンを実施した。	B	A	定期的実施している産業祭でのたばこのマナー向上の普及啓発を図る。	環境政策課 （環境政策係）
					ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置している。	A		平成24年度と同様である。	生活環境課
				一斉清掃の実施	年2回、春、秋に実施 春15,911人参加 27.72トン収集 秋14,953人参加 26.67トン収集	A	平成24年度と同様に実施する。	生活環境課	
				ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収）	配布箇所 11施設 配布枚数 ・可燃大 942組 ・可燃小 306組 ・不燃大 331組 ・不燃小 253組	A	平成24年度と同様に実施する。	生活環境課	
				ポイ捨て防止などの対策の研究	市内5駅周辺でのたばこの吸殻のポイ捨て状況を調査した。	B	B	状況を見守り、必要に応じて新たな対策などを研究する。	環境政策課 （環境政策係）
		実施していない	C		実施予定なし	生活環境課			
		一般	清潔なまちづくり	不法投棄防止対策の充実	シルバー人材センターに委託し、不法投棄防止パトロールの実施及び不法投棄がされやすい場所に不法投棄防止の看板を設置している。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	ごみ会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など 	A	平成24年度と同様である。	生活環境課	
				道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	街路樹の剪定、道路の路面清掃、道路側溝の清掃等を行った。	A	A	平成24年度と同様である。	建設課
					アダプト制度を導入し、市民団体等による管理を実施した。	A		アダプト制度の登録団体の拡大を行い、市民団体等による管理を実施する。	管理課
					一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する方にボランティア袋の配布を行った。	A		平成24年度と同様である。	生活環境課
				空き地の適正管理	あき地の適正管理に対する苦情件数：32件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	あき地の適正管理に対する苦情件数：30件（目安） 平成24年度と同様である。	生活環境課	
				ペットの飼い方等の意識啓発	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	平成24年度と同様に継続実施する	健康課	
				苦情対策	ペットに関する苦情件数：1件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し、対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	A	ペットに関する苦情件数：1件（目安） 平成24年度と同様である。	生活環境課
（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A	（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を継続実施する。	健康課						
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	地球温暖化対策地域推進計画の策定	地球温暖化対策地域推進計画（案）をとりまとめた。なお、策定については、平成24年度中の策定を予定していたが、国のエネルギー施策が定まらないため、動向を見て策定することとなった。	B	国のエネルギー施策や地球温暖化対策の方向性を把握し、この方向性に沿った計画を策定する予定である。	環境政策課（環境政策係）	
				一般	市全域の温室効果ガス排出量の把握	324,000 t-CO ₂ eq（2010年） ※出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2010年度）	A	オール東京62市区町村共同事業「みどり温暖化防止プロジェクト」において温室効果ガス排出量を算定する。	環境政策課（環境政策係）
		重点		省エネ教育の推進	学校での教育プログラムの実施	節電、節水に関する授業を全校で取り組んだ。また、ゴーヤなどの育成を通して省エネ教育に取り組んだ。	A	環境教育の授業を全校で取り組む。	指導室
					事業所への働きかけ	商工会で独自に施策を実施しているため、市においては夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を行うとともに、コンテストへの参加を呼びかけた。	B	必要に応じて商工会に対し情報提供を行う。また、夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を図る。	環境政策課（環境政策係）
				制度の検討	国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画策定と併せ検討した。	A	国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画が策定された後は、計画に沿った支援策等を検討・実施する予定である。	環境政策課（環境政策係）	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー 環境	省エネルギーの推進	重点 市全体での省エネルギーの推進	カーボン・オフセットの活用	現行の取組の把握・整理・検証	実施していない	C	B	実施予定なし	農林課
					実施していない	B		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
				広域的な連携による研究	実施していない	C	B	実施予定なし	農林課
					実施していない	B		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
				森づくりと連携したカーボン・オフセットの仕組みづくり・活用の検討	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行った。	A	A	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行う。	農林課
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
		重点 自動車対策	エコドライブの普及・啓発	各種支援制度の利用等の検討	経済産業省の支援制度を利用し、エコドライブ講習会を実施した。 ・座学講習会 平成25年1月28日実施(2回、庁舎会議室、受講者:105人) ・実技講習会 平成25年2月5日実施(午後1回、トヨタドライビングスクール東京(立川市)、受講者:6人)	A	A	エコドライブ講習会を実施する。	環境政策課 (環境政策係)
				啓発の実施	・庁用車2台に7月までアイドリングストップ装置を装着し、効果検証を行った。(効果が認められず、車両への負担が大きいため装置の使用を中断した。) ・庁用車にエコドライブ啓発ステッカーを掲出した。 ・庁用車の燃費把握を行い、職員へのフィードバックを行った。 ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認及び給油時の燃費確認の呼びかけを行った。 ・エコドライブ啓発用ステッカーを作成した。	A		・庁用車へのエコドライブ啓発ステッカーの掲出を継続する。 ・庁用車の燃費把握を行い、担当課へのフィードバックを実施する。 ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認及び給油時の燃費確認の呼びかけを行う。	環境政策課 (環境政策係)
				講習会(座学・実技)等の開催	経済産業省の支援制度を利用し、総務課・職員課と連携し、エコドライブ講習会を実施した。 ・座学講習会 平成25年1月28日実施(2回、庁舎会議室、受講者:105人) ・実技講習会 平成25年2月5日実施(午後1回、トヨタドライビングスクール東京(立川市)、受講者:6人)	A		総務課・職員課と連携し、エコドライブ講習会を実施する予定である。	環境政策課 (環境政策係)
					公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、内部監査で職員に把握状況の確認をすると共に毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導している。また、総務課、職員課、環境政策課で連携し、職員向けのエコドライブ講習会(座学・実技)を実施した。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、啓発、普及をしていくと共に毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導していく。また、エコドライブ講習会を実施する予定である。	総務課
					総務課、職員課、環境政策課で連携し、職員向けのエコドライブ講習会(座学・実技)を実施した。	A		エコドライブ講習会を実施予定	職員課
				自転車利用の促進	施設整備の実施	実施していない		C	B
		平成24年度については実施していない	B			実施予定なし	建設課		
		自転車優遇方策の検討	実施していない		B	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー 環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	「車に乗らない日」の普及・啓発	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
				公共交通機関の利用促進	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
					会議回数9回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。	A	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組む。	企画政策課
				自転車専用のインフラ整備	実施していない	C	実施予定なし	建設課	
				低公害車の率先導入（再掲）	低公害車を4台導入した。	A	A	低公害車1台の導入予定	総務課
					「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している（平成24年度購入車両：第6分団本部のポンプ車）。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。	地域防災課
				低公害車の普及・啓発（再掲）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図っている。	A	平成24年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)	
		燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施 (エコエネルギーステーションの設置研究ほか)	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)		
			情報収集に努めた。	C	C	情報収集に努める。	企画政策課		
		重点	電力使用量の削減	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行った。また夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催した（参加者：個人38、団体11）。省エネモニターの取組をホームページ等により市民へ周知した。	A	夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催する。省エネモニターの取組をホームページ等により市民へ周知する。	環境政策課 (環境政策係)
					セミナーの開催	地球温暖化地域推進計画策定の中で検討を行った。	B	地域推進計画の策定に伴い取組の実施について再検討する。	環境政策課 (環境政策係)
				省エネ型生活10か条・環境家計簿等の普及	省エネ型生活10か条・環境家計簿等の普及	ホームページで周知を図るとともに、省エネモニター登録者へ周知を行った。	A	引き続き普及・啓発を図る。	環境政策課 (環境政策係)
					省エネモニター制度の実施	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金の受給者を新たにモニターに登録した。（省エネモニター登録数：継続者92+新規46=138世帯）また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックするとともに、市ホームページにもデータの掲載を行った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金の受給者をモニターに登録する。また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックする。	環境政策課 (環境政策係)
				雨水貯留槽設置の導入促進	雨水貯留槽の設置支援	平成23年度をもって、雨水貯留槽設置費補助金の交付は終了している。	F		環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	電力使用量の削減	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	パンフレット等を設置し、周知を行った。太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数46件（太陽21・太陽熱2・エコキュート11・エコジョーズ10、エコウィル1、エネファーム1） 節電・省エネの呼びかけを行った。 ・広報・ホームページ掲載、町内会・自治会各戸配布、ポスター掲示、パンフレット設置等	A	パンフレット等を設置し、周知を行う。太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。電力需給に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。	環境政策課（環境政策係）
				事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	商工会で独自に施策を実施しているため、市においては夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を行うとともに、コンテストへの参加を呼びかけた。	A	必要に応じて商工会に対し情報提供を行う。また、夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を図る。	環境政策課（環境政策係）
				事業所のエネルギーマネジメントの普及	地球温暖化地域推進計画策定の中で検討を行った。	B	地域推進計画の策定に伴い取組の実施について再検討する。	環境政策課（環境政策係）
				中小事業所や商店に対する普及・啓発	市広報・ホームページを通じて節電・省エネの呼びかけを行った。	A	市広報・ホームページ及びあきる野商工会を通じて節電・省エネの呼びかけを行う。	環境政策課（環境政策係）
				公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	庁舎の電気使用量について、平成23年度比で85,856kwh（6.7%）増加した。なお、平成23年度の大規模な削減は、東日本大震災に伴う節電によるものが大きな要因と考えられる。	A	節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。	総務課
	新エネルギーの導入	重点	家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	情報提供と普及促進	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金制度に合わせ、太陽エネルギー見本市を実施した。また、広報・ホームページで周知を図った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置補助金制度を継続する。また、広報・ホームページで周知を図る。	環境政策課（環境政策係）
				新エネルギー・省エネルギー機器の設置支援	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。（補助件数46件：太陽光21、太陽熱2、エコキュート11、エコジョーズ10、エコウィル1、エネファーム1）	A	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。（補助予定数：太陽光20、太陽熱5、エコキュート10、エコジョーズ10、エコウィル2、エネファーム2）	環境政策課（環境政策係）
			事業所での新エネルギーの導入促進	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施した。	A	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施していく。	環境政策課（環境政策係）	
			新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施した。	A	国・都などの情報収集し、市の制度研究と合わせ、広報等で周知していく。	環境政策課（環境政策係）	
			一般	木質バイオマスの利用促進	焼却灰の検査結果により、木質バイオマスボイラーを一時停止している。	A	A	木質バイオマスボイラーの稼働を検証する。
		実施していない			C	実施予定なし		農林課
		実施していない			C	実施予定なし		環境政策課（環境政策係）
		普及啓発・環境教育の実施		温浴施設での見学受入件数：2件 視察等に対応した。	A	A	木質バイオマスボイラーの稼働状況により、視察等の受け入れを検討する。	観光商工課（H25～観光まちづくり活動課）
				実施していない	C		実施予定なし	農林課
		実施していない	C	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課			
				実績	評価	予定・進捗					
エネルギー 環境	新エネルギーの導入	一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	西秋川衛生組合に対し、要請している。	A	平成24年度と同様である。	生活環境課			
				ごみ焼却余熱の利用	西秋川衛生組合において、可能な限り利用している。	B	平成26年1月からは新炉（ガス化溶融炉）稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行う。	生活環境課			
					職員の手洗い用の温水に利用している。	B		西秋川衛生組合			
		一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	実施していない	C	B	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）		
	小中学校における、太陽光発電の屋根貸しについて検討を行った。				B	引き続き検討を行う。		施設営繕課			
	森林・緑地の拡大によるCO2の吸収	一般	森林の保全	森林のCO2吸収量に関する普及・啓発	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の登録業務を行っており、22事業者が登録済である。	A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課		
					地球温暖化地域推進計画策定の中で検討を行った。	B		地球温暖化対策地域推進計画を策定する中で検討していく。	環境政策課（環境政策係）		
					実施していない	C		実施予定なし	指導室		
				森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	森林再生事業（間伐）を実施した。	A	A	森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課		
					実施していない	C		生物多様性地域戦略や地球温暖化対策地域推進計画を策定する中で検討する。	環境政策課（環境政策係）		
				総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施した。	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施する。	農林課			
				地域林業の活性化（再掲）	郷土の恵みの森事業による積極的支援を実施した。	A	あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を定め、地域林業の活性化を図る。	農林課			
				材木生産の合理化とブランドイメージの向上	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の登録業務を行っており、22事業者が登録済である。	A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課		
					実施していない	C		実施予定なし	観光商工課		
				木材加工産業の育成	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を実施した。	A	A	あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を定め、地域林業の活性化を図る。	農林課		
					実施していない	C		実施予定なし	観光商工課		
				緑化の推進	一般	街路樹、公園樹木の拡大	実施していない	C	A	実施予定なし	建設課
							石神公園にドウダンツツジ125本を植樹した。	A		公園の植樹 50本予定	管理課
							実施していない	C		生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課（環境政策係）
	家庭等での植樹の推進（再掲）	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布を行った。	B		A	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布を行う。また、植樹の取組については、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境政策課（環境政策係）				
		産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行った。	A			産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行う。	農林課				
グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	落葉の堆肥化枠を市内4箇所に設置し、堆肥化を図った。（うち1箇所は、平成24年度設置）	A	平成25年度も継続していく。		生活環境課						

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般 情報の共有	「環境白書」の作成・公表	平成23年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。	A	A	平成24年度環境白書を発行する。	環境政策課 (環境政策係)
			環境に関する情報の収集・公開	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A		平成24年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)
				環境に関する図書を122冊購入し、貸出等の提供を行った。	A	環境に関する図書を100冊購入予定	図書館	
			研究・活動実績等の発表の場づくり	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			環境情報サイトの立ち上げ	市の環境調査結果をホームページで公表している。また必要に応じてホームページや広報で情報を提供した。	B	ホームページ等で情報提供を行っていく。	環境政策課 (環境政策係)	
		一般 情報の共有	環境情報コーナー等の機能整備の検討	実施していない	C	A	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
				中央図書館2階、展示コーナーで、梅雨の時期に合わせて「湿」をキーワードとし、関連資料89冊を展示・紹介した。	A		中央図書館2階、展示コーナーで、6月の環境月間に合わせて、「雨」をテーマに関連図書・資料の展示を行う予定	図書館
		重点 環境教育の推進	環境教育の場の充実	自然環境調査において観察会等を実施した。 ・ガサガサで生き物調べ(9月9日)	A	A	自然環境調査において観察会等を実施予定	環境政策課 (環境政策係)
				菅生若宮子ども体験の森事業により、里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行った。また、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織(小学校4年生から中学1年生までの29人)し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりにより、環境教育イベントを4回実施した。	A		平成24年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努めた。	A		「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努める。	指導室
				あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」 小峰公園ビジターセンターにて 8月12日実施	A		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課(H25～生涯学習スポーツ課)
				市民カレッジ人材養成入門・専門講座の自然史で「野鳥・植物・地質から見た自然観察」を実施した。また、親子自然体験学習「横沢入でホテルと眠る植物の観察」を6月30日に実施した。	A		親子自然体験学習「野鳥と植物の観察」を実施する。	公民館(H25～生涯学習スポーツ課)
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
				人材の育成及び活用	・あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」 小峰公園ビジターセンターにて 8月12日実施 ・五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。		A	A
		市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪(4回)・学校等からの依頼を受け、解説活動(29回)を実施した。	A		市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪・学校等からの解説依頼を受け実施する。市内探訪4回。解説依頼28回(予定)	公民館(H25～生涯学習スポーツ課)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成24年度		平成25年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般 環境パートナーシップの形成	協働・団体等のネットワーク化	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境委員会として産業祭に環境展を出展した。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。	B	B	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。	環境政策課 (環境政策係)
				森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。(活動回数：14回(うち4回中止)、参加延べ人数192人(内訳…レンジャー：60、サポートレンジャー：82、地域91))	B		森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施する。	環境政策課 (環境の森推進室)
			問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行った。	A	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行う。	環境政策課 (環境政策係)	
		一般 様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			ボランティアの活用の仕組みづくり	自然環境調査をボランティアで実施した。	B	B	自然環境調査をボランティアで実施する。	環境政策課 (環境政策係)
				森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を行った。	B		森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を継続する。	環境政策課 (環境の森推進室)
			点検・評価への参加の充実	平成23年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成した。	A	平成24年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成する。	環境政策課 (環境政策係)	
			家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			事業者のマネジメントシステム導入支援	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			経済的手法の研究	実施していない	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	